

# 井林 たつり

いばやし

- 瓦版 第八号 -

自由民主  
LIBERAL & DEMOCRATIC

発行所: 自由民主党本部  
東京都千代田区永田町1-11-23  
電話: 東京03 (3581) 6211 (代)  
振替口座: 東京00180-1-19518  
定価1部 105円(税込)

自由民主党  
静岡県第二選挙区支部  
〒426-0037  
藤枝市青木3-13-8  
TEL 054-639-5801  
FAX 054-639-5802  
Mail office@t-ibayashi.com



「いばやしブログ」配信中

《部内討議資料》

## 衆議院選へ猛烈活動中

生年月日 昭和51年7月18日(36才)  
住所 藤枝市本町  
本籍 榛原郡川根本町(お茶農家)

### 【経歴】

京都大学工学部、大学院工学研究科を卒業  
平成14年より国土交通省勤務  
平成22年6月4日にて  
中部地方整備局地域道路課長を退官。  
【家族】妻・長女・次女 【趣味】野球、水泳  
【好物】焼魚 白米 お茶

# 三十年後の常識

政治に求める先見性



ポスター掲示  
お願いします。

井林たつりの  
一言献上!

シルバー人材センターを守れ  
間違った行政刷新会議に喝!

お年寄りの豊富な経験を元に、  
様々な仕事をしてくれる、シルバー  
人材センターご存知でしょうか？  
井林の実家では、茶畑の手入れ  
などで、お手伝いをお願いしてい  
ます。経験豊富で丁寧に仕事をし  
ていただけるので本当に助かり、  
信頼することも出来ます。

高齢社会の現在、高齢者の方々の  
社会参画という側面からも、シ  
ルバー人材センターの役割は

社会的に高まっています。

シルバー人材センターの運営  
予算が、民主党政権の事業仕分  
けによって大幅に削られました。  
もちろん、天下りの排除や業務  
の効率化等は常に追い求めてい  
かなければいけません。しかし、  
パフォーマンスのため、性急に結  
果を求めるため、必要な予算ま  
で削減される。あつてはならない  
事です。

## 自由民主党入党のお願い

井林たつりは、党員の皆様に支えられています。党費  
(年4,000円)を頂き、イベントや勉強会を開催しています。  
自民党総裁選の投票も参加して頂けます。一緒に未来を  
創りましょう！下記をFAX頂くか、同様の内容を電話(054-  
639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えくだ  
さい。皆様の仲間入りをお待ちしています！

**FAX 054-639-5802**

お名前 \_\_\_\_\_

※入党は個人名のみとなります。

住所 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_



城内代議士

井林たつり

安倍元総理

「自民党を変える！早く国政へ来い！日本のために！」安倍元総理、城内実代議士より熱いエールを頂きました。日本の将来の為、頑張ります！

# 新しい時代に向けて

～30年後の常識非常識～

## ◆政治は思想だ！

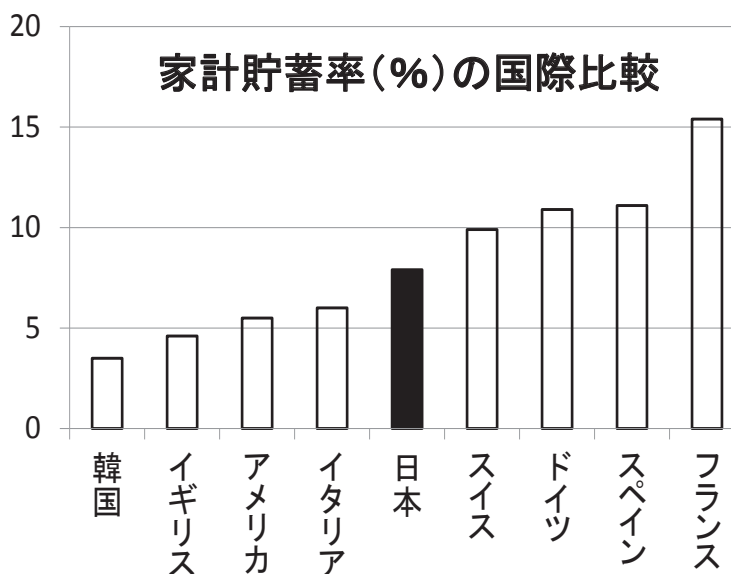
「政治は思想だ」奇異に聞こえるが、私は真剣にそう信じている。日本は大きな変化に直面している。小手先の政策では未来に希望も安心も持てないことを、国民は知っている。

## ◆常識は非常識

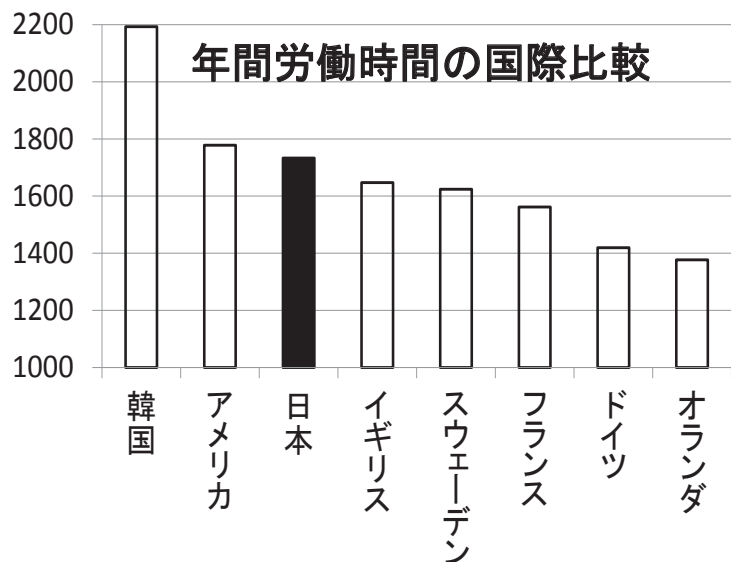
日本の経済的な発展は、

- ①家計の貯蓄を企業が設備投資に活用
- ②日本人が勤勉

の二つが大きな原動力と言われている。しかし現状は違う。家計貯蓄率は、20%を超える高貯蓄率時代もあった。しかし、現在では先進国でも中位程度。



勤勉さを表す年間労働時間は、アメリカよりも短い。エコノミックアニマルは昔話になっている。

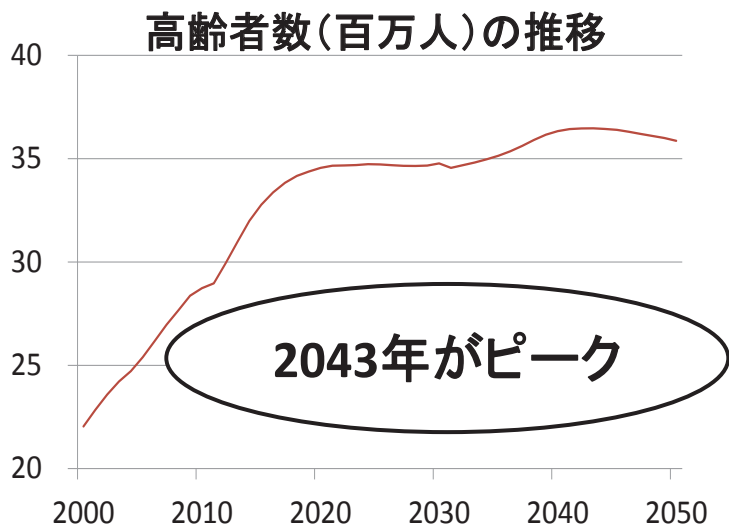


## ◆高齢者減少社会～30年に訪れる～

今、政治の場で議論されている事は、高齢者が増え続けている現状で、医療・介護・年金の社会保障問題が中心になっている。

しかし、人口推計では65歳以上の高齢者数は30年後の2043年(平成55年)で36百万人強で頭打ちになり、減少傾向をたどる。

36歳の井林は約30年後に高齢者になる。それは日本が初めて経験する「高齢者数減少」時代の幕開けと同時。



## ◆新しい時代に向けて

将来を見据え、新しい現実に対応した政策を果敢に実行していく時代が来た。国と地方の二重行政の無駄を省く地方分権、国家公務員大幅削減、国会の機能限定に伴う国会議員の削減を実現する。また、日本の良さを守りつつ徹底した規制緩和で経済成長を実現させる。

明治維新において、武士は鬘を切り、刀を廃し、自らの身分を投げ打った。同様に政治家が血を流し、公務員が涙を流して、初めて国民は懸命に汗を流してくれるのではないか。

祖国の未来の為に血を流し、返り血を浴びる覚悟で取り組む。今この覚悟こそ、政治家に求められる「思想」と信じて。

自由民主党静岡県第二選挙区支部長

井林 辰憲